

## 人と組織に関する実証研究

准教授 佐藤 香織

### 1. 研究内容

近年ではデジタルトランスフォーメーションの加速やテレワークの普及、ジョブ型雇用への移行など、働く環境が大きく変化しています。また、経営の要素である「ヒト・モノ・カネ・情報」のうち、価値を生み出す「ヒト」の重要性が高まり、人事管理施策は企業経営の重要課題の1つになっています。

それでは、変化する社会経済の状況に対応し、働く人が熱意を持って生き活きと成果を挙げられるような組織や人事制度を作るために、どのようにして改革を行っていけばよいのでしょうか？近年の社会ではデータを活用した意思決定が推進されており、組織や人事の分野も例外ではありません。人事や企業活動に関するデータを分析・可視化して、よりよい組織や社内の人事制度の構築に活かす取り組みを「ピープル・アナリティクス(People Analytics)」, または、「人事のデータサイエンス」といいます。グーグルやフェイスブックなどの企業ではピープル・アナリティクスを活用して従業員の状況を客観的に把握し、よりよい組織づくりのための改革を行っています。ピープル・アナリティクスを活用する日本企業も増加しつつあり、人事部や総務部で働く人々にもデータサイエンスのスキルが必要となる時代が来ています。

本演習室は、ピープル・アナリティクスの実践的なスキルを身に着けると共に、望ましい組織や制度のあり方について考えていきます。「ヒト」に関心があり、「ヒト」と組織、そして社会との関係を探求してみたい、そんな方の入室を歓迎いたします。

### 2. ゼミの進め方

#### ≪ 2 年次 ≫

人事や組織の経済学や労働の諸問題に関する基礎知識を身につけるため、テキストを皆で輪読します。各自が担当章についてプレゼンテーションを行い、ゼミ内でディスカッションをします。また、実証分析のスキルを養成するため、教科書に沿ってRを用いたデータ分析演習を行います。

#### ≪ 3 年次 ≫

2 年次に修得した知識やスキルを元に、より高度な内容のテキストの輪読や、グループによる研究活動を行います。学外のプレゼン大会への参加なども行います。

#### ≪ 4 年次 ≫

ゼミでの研究活動の集大成として、グループ、または個人による卒業論文の執筆を行います。

### 3. 教材

星野匡郎, 田中久稔 (2016) 『Rによる実証分析－回帰分析から因果関係分析へ－』(オーム社)

※その他、授業内で適宜指示します。

### 4. 成績評価の方法

授業貢献度(発表やディスカッションへの参加度など)、課題の提出状況等により総合的に判断します。

### 5. ゼミ入室試験(選考方法)

選考方法につきましては、Oh-o!Meiji にて、後日連絡します。

### 6. その他・志願者へのメッセージなど

2年生終了時までには統計学A, Bを履修していることが望ましいです。未履修の人は3年次に履修してください。授業ではデータ分析の演習を行いますので、各自でノートPCを準備してください。